

企業景況調査報告書

(平成27年1～3月期)

< 目 次 >

調査の概要・結果概要	・・・・・・・・・・	1
質問2（直面している経営上の問題点）	・・・・・・・・・・	2
質問3（採用状況について）	・・・・・・・・・・	3
質問4（意見等自由記載欄）	・・・・・・・・・・	4
DI集計結果・分布	・・・・・・・・・・	5～7
調査票様式	・・・・・・・・・・	8

倉吉商工会議所

倉吉市明治町 1037-11

TEL 0858-22-2191

FAX 0858-22-2193

Email cci3103@kurayoshi-cci.or.jp

倉吉商工会議所企業景況調査報告書(平成27年1~3月)

調査対象企業	倉吉市内の商工会議所会員企業 100 社 (建設業 22 社、製造業 20 社、卸売業 11 社、小売業 21 社、サービス業 18 社、その他 8 社)
調査方法	各事業所を職員が直接訪問し、聞き取り又は依頼後調査票回収による。
調査時期	平成 27 年 4 月上旬～平成 27 年 4 月中旬
回収状況	49 社(回収率 49%) ※前回(10~12 月)72 社

<今期の状況> ☆業況判断は一部の業種を除いて厳しい状況

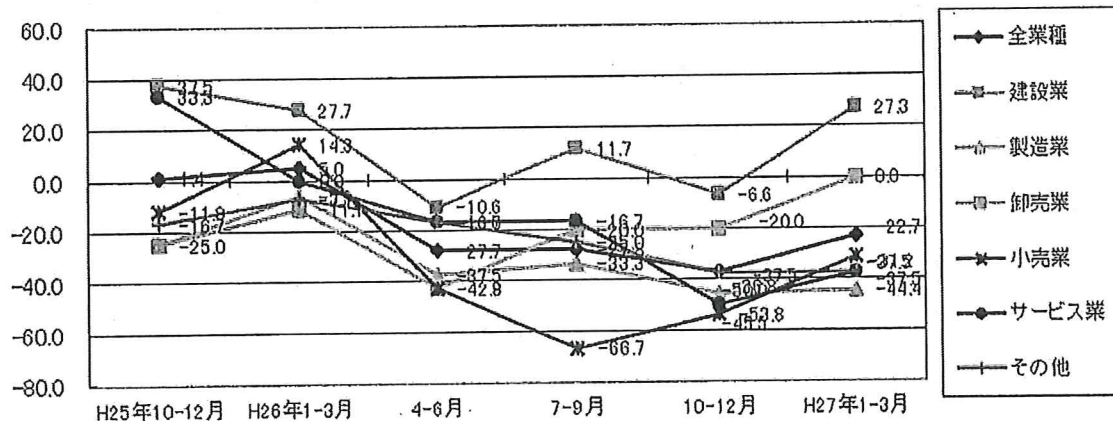
前年同期比(1~3月)では、業況判断が1業種でプラスに転じたものの、依然厳しく引き続き当地域の消費の停滞、景気の低迷感を表す結果となった。具体的には、建設業で+27.3P となっており、年度末から新年度にかけての受注増加がプラスに転じた要因であることが窺える。また、雇用人員は、全業種ともに増加もしくは横ばいの状況にあり、人員確保策については、一段落といった様子も窺える。建設業以外の業種で借入難度について厳しい見方をしており、資金調達、債権回収サイクルによっては予断を許さない状況であることも窺える。

<来期の見通し> ☆業況判断は全業種とも改善は見込めず、引き続き厳しい見通し

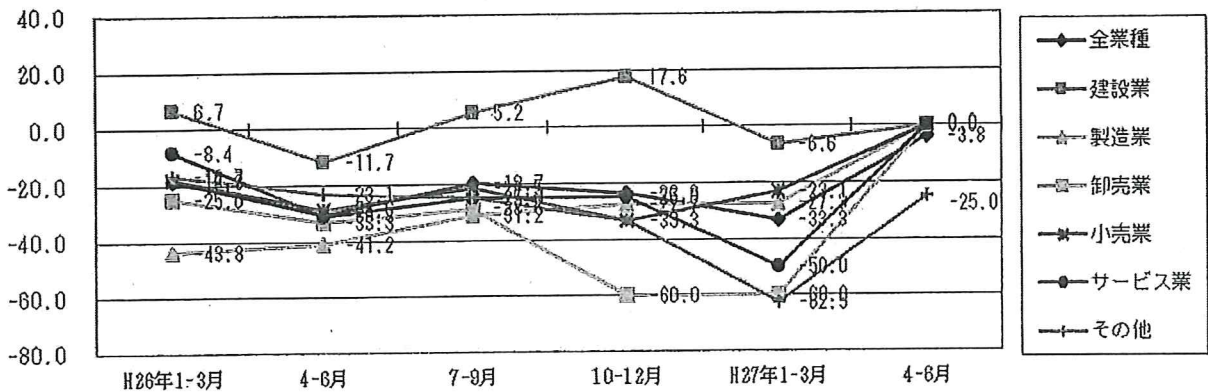
来期見通し(4~6月)では、業況判断については、多くの業種でマイナス幅は縮小傾向にあるが、売上高については、プラスに転じている業種はなく、引き続き消費税増税の影響による消費の低迷が予想される結果となった。借入難度については、前年同期比と同じく、ほとんどの業種で厳しい見方をしており、資金繰りについても同様で、各企業の資金面における体力の有無が今後の経営状況を左右しかねない状況となっていることが窺える。今回は、多くの項目でマイナス幅が縮小しており、来期(4~6月)に限れば改善傾向との見方もあるが、依然厳しい環境に置かれており、引き続き目の離せない状況となっている。

<業況判断DIの推移> ※今期のDI値集計結果についてはP5をご参照下さい。

(1)今期の状況 <業種別>



(2)来期の見通し<業種別>



※DI値

売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表します。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。

したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりや意味するものです。DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

質問2 直面している経営上の問題点(上位3点を回答)

- 01 競争激化 02 消費・需要の停滞 03 売上・受注減少 04 売上・受注単価低下
 05 原材料・仕入価格上昇 06 原材料・在庫不足 07 原材料・在庫過剰
 08 店舗・生産設備不足・老朽化 09 店舗・生産設備過剰 10 経費の増加 11 人手不足
 12 人手過剰 13 利益率低下 14 代金回収難 15 資金繰り難 16 新分野進出
 17 その他;具体的に()

[上位項目]

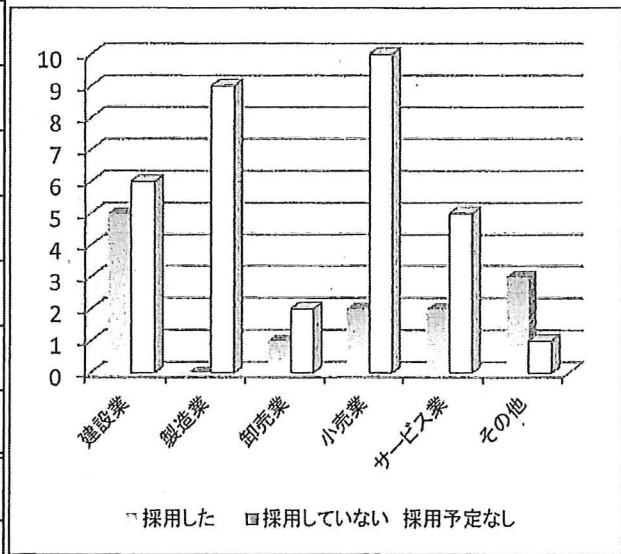
※ () 内は件数

分類		1 位	2 位	3 位
全業種	当期	売上・受注減少(21)	原材料・仕入価格上昇(19)	競争激化(17)
	前期	消費・需要の停滞(27)	売上・受注減少(22)	競争激化(19) 原材料・仕入価格上昇(19) 利益率低下(19)
建設業	当期	競争激化(7) 原材料・仕入価格上昇(7)	売上・受注減少(4) 経費の増加(4)	利益率低下(3)
	前期	売上・受注減少(8)	原材料・仕入価格上昇(7) 利益率低下(7)	人手不足(6)
製造業	当期	消費・需要の停滞(6)	売上・受注減少(5)	原材料・仕入価格上昇(4)
	前期	消費・需要の停滞(9)	原材料・仕入価格上昇(5)	売上・受注減少(5)
卸売業	当期	原材料・仕入価格上昇(2)		
	前期	原材料・仕入価格上昇(3)	競争激化(2) 消費需要の停滞(2) 売上・受注減少(2) 経費の増加(2)	利益率低下(2)
小売業	当期	消費・需要の停滞(6) 売上・受注減少(6)	原材料・仕入価格上昇(4)	競争激化(3) 売上・受注単価低下(3)
	前期	消費・需要の停滞(8)	競争激化(7)	新分野進出(4)
サービス業	当期	売上・受注減少(4) 利益率低下(4)	競争激化(3)	消費・需要の停滞(2) 売上・受注単価低下(2) 原材料・仕入価格上昇(2)
	前期	消費・需要の停滞(4) 人手不足(4)	売上・受注減少(3)	競争激化(2) 原材料・仕入価格上昇(2) 経費の増加(2) 利益率低下(2)
その他	当期	利益率低下(3)	新分野進出(2)	
	前期	利益率低下(3)	競争激化(2) 売上・受注減少(2)	新分野進出(2)

質問3 新卒者・既卒者の27年(4月時点)採用状況および採用予定

(単位:社)

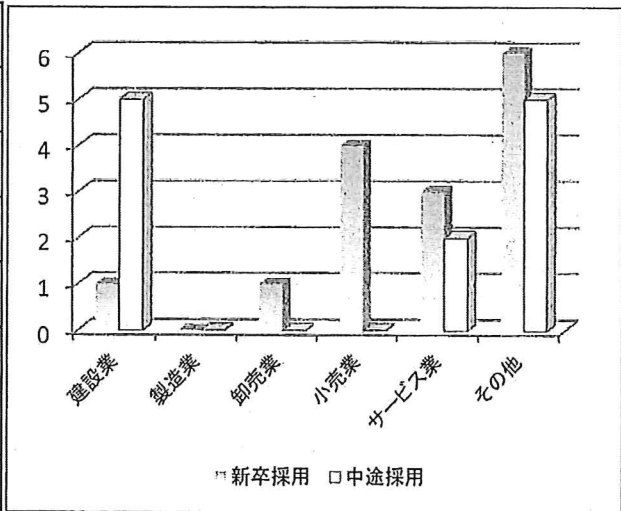
	採用した	採用していない 採用予定なし
建設業	5	6
製造業	0	9
卸売業	1	2
小売業	2	10
サービス業	2	5
その他	3	1
合計	13	33
全体比	17.8%	45.2%



平成27年(4月時点)採用人数

(単位:人)

	新卒採用	中途採用
建設業	1	5
製造業	0	0
卸売業	1	0
小売業	4	0
サービス業	3	2
その他	6	5
合計	15	12



<まとめ>

【4月時点での採用状況】

「採用した」と回答した企業は、建設業、小売業、サービス業を中心に人材を確保しようとする動きが顕著であった。いずれの業種も今後の受注増を見込んで採用増に繋がったことが窺える。

【4月時点での採用者数】

小売業、その他の業種において新卒者採用の割合が高く、長期的な観点で人材を育成しようとする動きがみられた。
また、建設業においては、中途採用者の割合が高く、今後の受注に併せて即戦力を確保し、自社の事業展開に備えようという動きが目立った。

質問4 現在の景況感、企業経営上の問題点等について(要望・意見等自由記入)

【建設業】

- ・公共工事が比較的発注されており、現在の景況は悪くないが、民間の景気は好転に至らず、新築棟数は低水準で推移している。
- ・受注はあるが、材料費の上昇と価格競争で利益率の確保が難しい。
- ・もう少し若者の就職率(本採用)が良ければと思います。

【製造業】

- ・景況感は横ばいであるが、消費税増税による運転資金の上昇が苦しい。また、加工単価は減少しており、従業員の確保、昇給が難しい。
- ・昨年の消費税増税後の消費の停滞が大きく、昨年と比較すれば売上率は上がってくると予想しているが、円安等の影響で、原材料の仕入れが上昇してきて、内容的には厳しいと感じている。

【卸売業】

- ・仕事量の割に収益が上がらない。人材不足。

【小売業】

- ・新分野進出
- ・消費税アップ後の買い控えムードが耐久消費財に顕著に表れて、苦戦しております。経営体質の切り替えも検討中で、政府の対策も期待します。

【サービス業】

- ・飲食業界の景気は良くなっていません。昨年は消費税率アップの影響か売上は下がりました。今年良くなるかは微妙です。地方創生に期待します。
- ・不況が長く続いたので社員を採用出来ずに高齢化してきてしまった。現在では、好不況に関わらず技術の継承を目的に若い人を採用し育てる必要が出てきた。従って、将来の見通しは良好とは思わないが、採用せざるを得ないところまで来てしまったように思う。
- ・人手不足と原材料価格の上昇が利益を圧迫している。円安が進んでいくと経営が大変になる。

【その他の業種】

- ・消費の停滞と施設老朽に伴う修繕等により利益率低下。

D I 集 計(前年同期比=H26年1~3月期、来期の見通し=H27年4~6月)

【製造業・非製造業別】

	1. 売上高		2. 売上単価		3. 資金繰り	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-26.4	-18.8	-11.5	-7.7	-30.8	-13.2
製造業	-55.6	-11.1	0.0	0.0	-55.6	-22.2
非製造業	-20.5	-20.4	-14.0	-9.3	-25.6	-11.3

	4. 借入難度		5. 収益状況		6. 雇用人員	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-7.6	-15.1	5.6	3.7	3.8	0.0
製造業	-22.2	-33.3	0.0	0.0	11.1	0.0
非製造業	-4.6	-11.4	6.8	4.6	2.3	0.0

	7. 業況判断	
	前年同期比	来期の見通し
全業種	-22.7	-3.8
製造業	-44.4	0.0
非製造業	-18.2	-4.6

【業種別】

	1. 売上高		2. 売上単価		3. 資金繰り	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-26.4	-18.8	-11.5	-7.7	-30.8	-13.2
建設業	18.2	-27.3	9.1	-9.1	9.1	-18.2
製造業	-55.6	-11.1	0.0	0.0	-55.6	-22.2
卸売業	0.0	-50.0	-25.0	50.0	-25.0	0.0
小売業	-43.8	-12.5	-31.2	-6.3	-37.5	-6.3
サービス業	-25.0	0.0	-12.5	-12.5	-50.0	0.0
その他	-40.0	-40.0	0.0	-75.0	-25.0	-40.0
非製造業	-20.5	-20.4	-14.0	-9.3	-25.6	-11.3

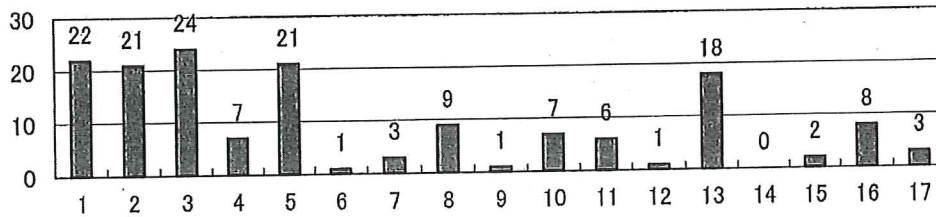
	4. 借入難度		5. 収益状況		6. 雇用人員	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-7.6	-15.1	5.6	3.7	3.8	0.0
建設業	18.2	-18.2	27.3	18.2	9.1	-9.1
製造業	-22.2	-33.3	0.0	0.0	11.1	0.0
卸売業	-50.0	-50.0	50.0	25.0	25.0	25.0
小売業	0.0	-6.3	-6.3	-6.3	0.0	0.0
サービス業	0.0	12.5	-12.5	12.5	0.0	0.0
その他	-40.0	-20.0	0.0	-20.0	-12.5	0.0
非製造業	-4.6	-11.4	6.8	4.6	2.3	0.0

	7. 業況判断	
	前年同期比	来期の見通し
全業種	-22.7	-3.8
建設業	27.3	0.0
製造業	-44.4	0.0
卸売業	0.0	0.0
小売業	-31.2	0.0
サービス業	-37.5	0.0
その他	-37.5	-25.0
非製造業	-18.2	-4.6

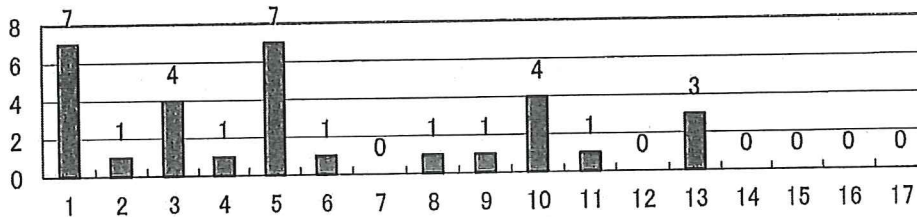
質問2 今期直面している経営上の問題点

- | | |
|-----------------|----------|
| 1 競争激化 | 10 経費の増加 |
| 2 消費・需要の停滞 | 11 人手不足 |
| 3 売上・受注減少 | 12 人手過剰 |
| 4 売上・受注単価低下 | 13 利益率低下 |
| 5 原材料・仕入価格上昇 | 14 代金回収難 |
| 6 原材料・在庫不足 | 15 資金繰り難 |
| 7 原材料・在庫過剰 | 16 新分野進出 |
| 8 店舗・生産設備不足・老朽化 | 17 その他 |
| 9 店舗・生産設備過剰 | |

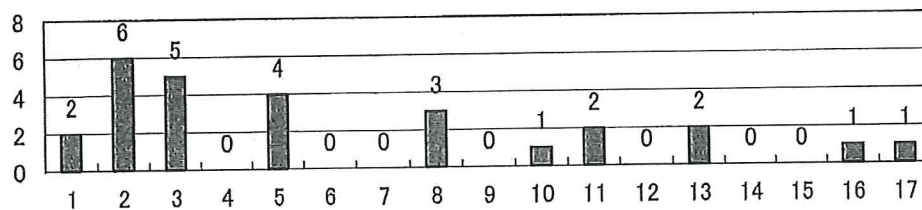
全業種(複数回答)



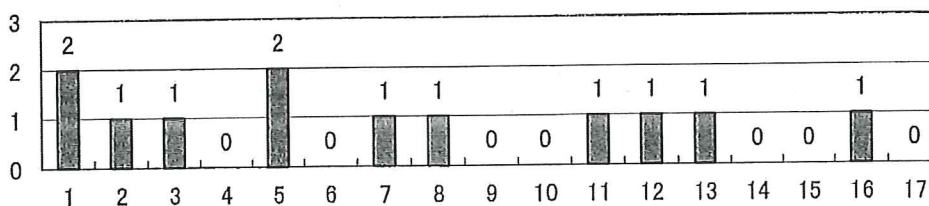
建設業(複数回答)



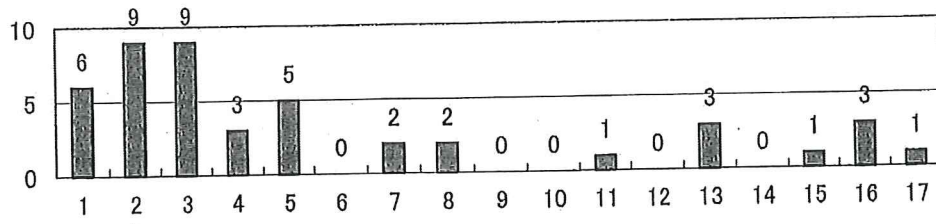
製造業(複数回答)



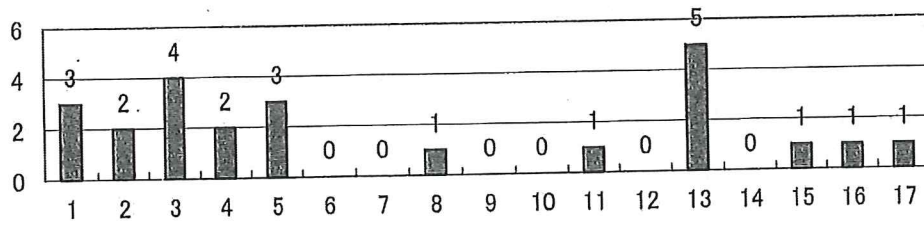
卸売業(複数回答)



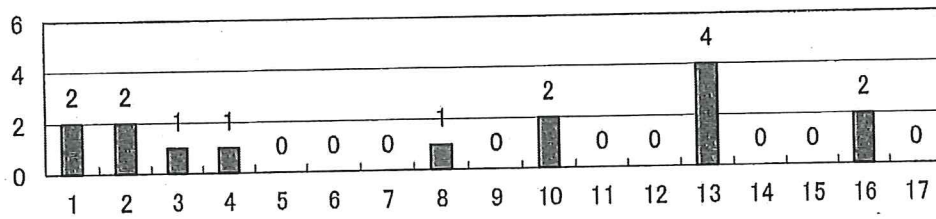
小売業(複数回答)



サービス業(複数回答)



その他(複数回答)



倉吉商工会議所企業景況調査票(平成27年1~3月期)

調査元: 倉吉商工会議所 TEL:22-2191

FAX:22-2193

【質問1】前年同期と比較した今期(平成27年1~3月)の状況と、今期と比較した来期(平成27年4~6月)の見通しについて、最も近いものに○印をお付けください。

- | | | | | |
|----------|----------|--------------|-----------|-----------|
| 1) 売上高 | (前年同期比) | 1. 増加 | 2. 不変 | 3. 減少 |
| | (来期の見通し) | 1. 増加 | 2. 不変 | 3. 減少 |
| 2) 売上単価 | (前年同期比) | 1. 上昇 | 2. 不変 | 3. 低下 |
| | (来期の見通し) | 1. 上昇 | 2. 不変 | 3. 低下 |
| 3) 収益状況 | (前年同期比) | 1. 好転 | 2. 不変 | 3. 悪化 |
| | (来期の見通し) | 1. 好転 | 2. 不変 | 3. 悪化 |
| 4) 資金繰り | (前年同期比) | 1. 好転 | 2. 不変 | 3. 悪化 |
| | (来期の見通し) | 1. 好転 | 2. 不変 | 3. 悪化 |
| 5) 借入難度 | (前年同期比) | 1. 容易 | 2. 不変 | 3. 困難 |
| | (来期の見通し) | 1. 容易 | 2. 不変 | 3. 困難 |
| 6) 雇用人員 | 現在の従業員数 | 人(うち正規雇用者 人) | | |
| | (前年同期比) | 1. 過剰(増加) | 2. 不変(適正) | 3. 不足(減少) |
| | (来期の見通し) | 1. 過剰(増加) | 2. 不変(適正) | 3. 不足(減少) |
| 7) 貴社の業況 | (前年同期比) | 1. 好転 | 2. 不変 | 3. 悪化 |
| | (来期の見通し) | 1. 好転 | 2. 不変 | 3. 悪化 |

【質問2】今期直面している経営上の問題点について、重要度の高い順に該当する番号を回答欄へご記入ください。

01 競争激化	10 経費の増加	回答欄
02 消費・需要の停滞	11 人手不足	1位 _____
03 売上・受注減少	12 人手過剰	
04 売上・受注単価低下	13 利益率低下	
05 原材料・仕入価格上昇	14 代金回収難	2位 _____
06 原材料・在庫不足	15 資金繰り難	
07 原材料・在庫過剰	16 新分野進出	
08 店舗・生産設備不足・老朽化	17 その他:具体的に	3位 _____
09 店舗・生産設備過剰	()	

【質問3】貴社の平成27年4月における従業員の採用について

1. () 採用した→※3~7に状況をご記入ください 2. () 採用していない(今後も未定である)
従業員採用状況について(3は該当する欄に記入、4~7は該当する項目の括弧に○を付してください。)

	①大学卒以上	②短大・専門学校卒	③高校卒	④中途採用	⑤その他
3. 平成27年4月の採用実績 (①~③は新卒)	男 人・女 人	男 人・女 人	男 人・女 人	男 人・女 人	男 人・女 人

4. 採用の人材は? () ①技術系 / () ②営業系 / () ③事務系 / () ④その他
 5. 従業員採用計画は? () ①順調である / () ②順調ではない / () ③どちらともいえない
 6. 従業員採用(人材獲得)へ向けた活動は? () ①新聞・情報誌等広告利用 / () ②教育機関へ働きかける
 () ③ガイダンス・面談会利用 / () ④その他(具体的に:)
 7. 不足している人材補充は? () ①中途であっても補充採用したい / () ②新卒者採用まで待つ
 () ③パート・アルバイトで補充する / () ④派遣社員で補充する / () ⑤当面現状維持
 () ⑥その他(具体的に:)

【質問4】現在の景況感、企業経営上の問題点、等についてご記入ください。

ご協力ありがとうございました。